

<ロシア史、アジア史>

アジアにおけるロシアの諜報活動に関する2つのコレクション

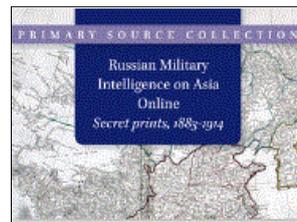
## アジアにおけるロシア軍事情報資料集 1883-1914年 Russian Military Intelligence on Asia Online: Secret Prints, 1883-1914

オンライン版：完全買切型（次年度以降の追加費用は発生しません）

価格はお問い合わせください

言語：ロシア語

原本所蔵：National Library of Russia, Saint Petersburg



革命前の東洋に関する優れた刊行物の一つは、あまり知られていませんが、“Collection of Geographical, Topographical and Geographical Materials on Asia (*Sbornik geograficheskikh, topograficheskikh i statisticheskikh materialov po Azii*)”として発行されています。

1883年から1914年まで Russian General Staff によって発行され、87巻+9巻のサプリメント（平均約300ページ）から構成されているこの雑誌の目的は、ロシアと西洋の探検家、役人、学者によって書かれた大陸に関する重要な学術資料を、ロシア帝国の軍隊に提供することにあります。

Secret Prints の大半は、アジアの辺境に旅行した人々によるものです。大半はロシアの将校で、地理や関連分野に広く精通していた人々でした。著名な著者としては、Nikolai Przhevskii, Aleksei Kuropatkin, Nikolai Ermolov, Gustav Mannerheim, Lavr Kornilov, Andrei Snesev が挙げられます。その他、外交官、ロシア帝国のインド侵攻計画の歴史、ヘラート攻囲、ヨーロッパの対中国運動などの記事があります。さらに、19世紀アジアの未開発の資料も豊富に収録されています。

本コレクションは、Secret または、For Internal Use Only に分類されていたので、少数部しか印刷されてきておらず、海外で完全なコレクションは存在していません。

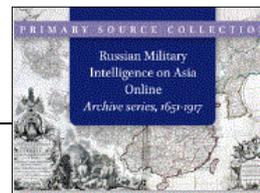
G.C.19155  
Slavic and Eurasian Studies

( De Gruyter Brill (Brill), NLD Primary Source / 丸善雄松堂 )

《裏面に続きます》

- ◆ キャンパス数は問いません。同時アクセス数無制限です。
- ◆ コンテンツ料は導入時のみ、完全買切型です。
- ◆ 掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- ◆ 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。

ロシアがアジアに進出した 19 世紀の記録



アジアにおけるロシア軍事情報資料集 1651-1917 年

## Russian Military Intelligence on Asia Online: Archive series, 1651-1917

オンライン版：完全買切型（次年度以降の追加費用は発生しません）

価格はお問い合わせください

主要収録年代：1850—1917 年

言語：ロシア語、フランス語、ドイツ語、英語、中国語、ラテン語、オランダ語、日本語、アラビア語、トルコ語、イタリア語、ギリシア語、ペルシア語、韓国語、モンゴル語、ノルウェー語

原本所蔵：Russian State Military History Archive (RGVIA), Moscow

ヨーロッパ諸国がナポレオン戦争に総力をそそぐなか、ロマノフ朝はアジアに進出。アジア進出にともない、探検家、軍隊、外交官、学者等によってアジアに関する様々な情報が収集されました。

### A threat from the Far East (China, Japan, Korea)

清王朝の衰退がロシア帝国にとって東方への拡大のための魅力的な機会を提供したので、19 世紀の間極東への関心が高まってきました。さらに、ロシアと中国は非公式な関係が長く続いていたので、ヨーロッパのほかの地域に比べ、中国の地域研究に適した立場にありました。本コレクションは、軍事、政治、経済、民族、地理研究と広く網羅されており、アムール、ウスリー地域、伊犁事件、中国ロシア同盟、満州に関する資料も収録されています。

### The Eastern question (Turkey, Palestine, Arabia & Syria)

ロシア帝国の最後 2 世紀は、トルコとの 8 度にわたる対立にあけられていました。その一つにクリミア戦争があり、遠くビクトリア朝イングランドでも「東方問題」として広く知られていました。ロシア軍司令官は、敵国トルコに関する膨大なデータを集めていましたが、それらが本コレクションに収録されています。千点以上のファイルから構成され、トルコの政治、イギリスの影響、トルコ軍の組織と状態、ボスボラスとダーダネルス海峡の防衛、バルカン諸国での民族主義の反乱などの資料、さらに 500 点以上の地図、ダイヤグラム、図表、計画表もあります。

### The Great Game in Central Asia ( Persia (Iran), Afghanistan)

18 世紀、19 世紀、ロシアは 4 回ペルシアと戦争しました。ロシア帝国の野心は、コーカサスにありましたが、「the Great Game」と呼ばれるアジアの統治権をめぐる争いにロンドンがおそれるようになります。本コレクションは 200 点もの地図が収録されており、政治、経済、文治的開発、アルメニアの分離主義、ロシア軍のペルシア軍への援助等のテーマの資料が収録されています。

G.C.19156

 **MARUZEN-YUSHODO**